

## 2019年度 幹事会活動計画

【目的】北信圏域の障がい者福祉の現状と課題を踏まえながら、地域に必要とされる取り組みや施策の実現に向けて、さまざまな検討協議を行う。また、協議会が円滑かつ効果的に機能するための検討協議を行う事を目的とする。

### 【主な活動】

#### 幹事会 (年5回)

- 相談支援専門員の活動報告を受け、地域の課題について検討を行っていく。
- 第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画が今年度は計画の中間年となる。前年度どこまで進捗したのか検証し、今後力を入れるべき課題は何か等検討し、各部会とも連携しながら地域の体制整備を進めていく。

#### 市町村 課題検討 WG (月1回)

- ケアプラン研究会にて、サービス等利用計画、モニタリングの内容の精査を行い、サービスの支給決定を行う行政の立場から見た適切なプランの視点を学習し、地域全体の質を高めていく。今年度は5回行う予定で、その内2回は、相談支援専門員と合同でGSV（グループスーパービジョン）を行う予定。
- 圏域内の相談支援専門員との情報共有・意見交換会を2回予定。ざっくばらんに意見交換等を行う事で、連携がよりスムーズになったり、地域課題の把握・解消につながるようにしていきたい。
- 今年度検討したい課題として、以下の様な課題があがっている。
  - ・災害時の個別避難計画について
  - ・北信圏域の障がい児支援体制について（北信圏域の歴史と現状を学ぶところから）
  - ・成年後見制度利用促進のための中核機関の設置のための協議の場について
  - ・児童発達支援センターの設置について

#### 地域生活支援 拠点等事業 検討会 (月1回)

- 地域あんしんコーディネーターの活動や空床2床の利用実績等の報告を受け、地域課題の検討に繋げている。
- 地域生活支援拠点等の機能を担う事業所として認定を受けた事業所と、実際にどのような協力が可能か具体的な内容を相談していく。
- 支援者の専門的性向上のための研修会を企画・実施していく。